

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0000 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

編集後記

2009 年から 4 年間、和文誌藻類の編集に携わってきましたが、来年 1 月より委員長の職務をお茶の水女子大学の嶋田智さんに引き継ぐことになりました。当初は仕事と編集をうまく両立させていましたが、仕事の内容と環境がこの 4 年間で大きく変化し、藻類の刊行や原稿の審査に支障をきたすようになってしまいました。審査の遅れや刊行の乱れでご迷惑をおかけしました皆様に深くお詫びします。実は、本誌は私の MacBook の InDesign ですべて編集しており、印刷のみを委託しています。出張先のホテルはもちろんのこと、トカラ列島の民宿や大学練習船の船内、アングマン海に浮かぶ電気がない小島嶼など、結構とんでもないところで編集していました。誌面にすきまをつくらないようにするため、藻類に関することであれば何でも取材しました。海松紋の陶器などは問合せも多く、紹介してうれしかった記事のひとつです。今後も編集委員の一員として残る予定ですが、少し楽な立場から記事や情報を提供していければと思います。4 年間、どうもお世話になりました。(寺田)

お知らせ

2013 年 1 月より、和文誌編集委員会が下記に移ります。今後、和文誌の投稿先はこちらにお願いします。なお、投稿中の原稿はそのまま新編集委員会に引き継がれますので手続きは不要です。

日本藻類学会和文誌編集委員会

新和文誌編集委員会委員長 嶋田 智 (お茶の水女子大学)

新送付先：〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科自然・応用科学系

日本藻類学会和文誌編集委員会 委員長 嶋田 智

問合せ先：電話 (03)5978-5356 E-mail shimada.satoshi@ocha.ac.jp

日立ハイテク
HITACHI

SU8000 Series

世界を変えたFE技術。 半世紀に渡る 深化の最先端へ。

「電界放出形電子顕微鏡の実用化」が
IEEEマイルストーンに認定されました。

「見えないものが見える」をキャッチフレーズに、信頼性と操作性で世界中のお客さまから愛用されてきた日立のFE-SEM*。いまではFE-SEMといえば「日立」というほど世界中で認められています。その実績は、IEEEマイルストーン認定という形でここに結実。まさにFE電子顕微鏡なら、世界を変える答えが見えるといっても過言ではありません。

* FE-SEM:Field Emission-Scanning Electron Microscope (電界放出形走査電子顕微鏡)



最先端を、最前線へ。

株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <http://www.hitachi-hitec.com/science/>

北海道(札幌) (011) 707-3200
関西(大阪) (06) 4807-2552

東北(仙台) (022) 264-2211
四国(高松) (087) 814-9911

中部(名古屋) (052) 219-1670
九州(福岡) (092) 778-3015

Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

淡水藻類

淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5判上製・総頁1444頁・定価52500円(本体50000円)

本書は淡水における藻類、約1500属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を12分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約800属所収する。60年に及ぶ著者の淡水藻類研究の集大成として、淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心となり、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに/凡例/淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引/属名カナ読み索引/和文事項索引/欧文事項索引

新日本海藻誌

—日本産海藻類総覧—

吉田 忠生 著 B5判・総頁1248頁・定価48300円(本体46000円)

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、多様な知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

有用海藻誌

海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5判・総頁592頁・定価21000円(本体20000円)

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても多くの知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の3編31章から構成され、各分野で長く研究にかかわってきた多彩な執筆者が、それぞれの専門分野を詳述する。

小林弘珪藻図鑑

H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田敬五 著 B5判・596頁・定価35700円(本体34000円)

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DAI_{po}, pH 耐性能

渡辺仁治 編著 浅井一視・大塚泰介・辻 彰洋・伯耆晶子 著 B5判・784頁・定価34650円(本体33000円)

日本のみならず世界各地から約1500のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約1000種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

表示の価格は税込定価(本体価格+5%)です。
<http://www.rokakuho.co.jp>

〒112-0012 東京都文京区大塚3-34-3
TEL.03-3945-6781 FAX.03-3945-6782

内田老鶴園

Digital

デジタル・コミュニケーション・ワークフロー

多様化する印刷・出版ニーズに 優れた瞬発力でお応えします

私たちイセブは、筑波研究学園都市を中心とする地域で培ったお客様との信頼関係を礎に、お客様一人ひとりに最適な印刷ソリューションのご提案をめざしています。高品位な学術書論文集等にすぐれた編集ワークとクリエイティブなビジュアル提案が可能なデザインワークを特長とする制作部門に、フルデジタル化によるワークフローを構築。完成したデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに刷版出力することで、印刷・製本工程とあわせて迅速な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディかつ低価格でご提供しています。



最新鋭の設備が約束する 確かな印刷技術革新

Products

プリプレス&プレス・ワークフロー

私たちイセブでは、最新鋭の印刷設備をラインナップし、幅広い商品ニーズに高品質・短納期・低コストでお応えしています。印刷機はハイデルベルグ社製のスピードマスターを設備し、最先端のデジタル制御技術と卓越したオペレータによる厳しいチェック体制が、つねにハイグレードな印刷品質をお約束します。また、個人ユーザーによる自分史や詩歌集、学術論文などモノクロを主体とする小ロットの印刷媒体には、デジタルデータから直接印刷するオンデマンド印刷でフレキシブルに対応しています。



事業所のご案内

ISEBU Service Station

お客様の多様な印刷・出版ニーズに迅速できめ細かいサービスを提供する営業センター

〒305-0005
茨城県つくば市天久保2-11-20
Tel.029-851-2515
Fax.029-852-8501
ss@isebu.co.jp
営業時間:9:00~17:30



ISEBU Printing Station

最新鋭のデジタルワークフローでデザイン・編集から印刷、製本までの一貫生産を行う印刷工場

〒305-0812
茨城県つくば市東平塚389
Tel.029-856-4166
Fax.029-856-4147
ps@isebu.co.jp
営業時間:9:00~17:30



下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円，非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

藻類

第 60 巻第 3 号

2012 年 11 月 5 日印刷

2012 年 11 月 10 日発行

© 2012 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者

寺田竜太

〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 50-20

鹿児島大学水産学部水産学科

Tel 099-286-4131

Fax 099-286-4015

E-mail terada@fish.kagoshima-u.ac.jp

印刷所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

発行所

日本藻類学会

〒 060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学大学院理学研究院自然史科学部門

Tel 011-706-2745

Fax 011-706-4851

Printed by Isebu Inc.

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第60巻 第3号 2012年11月10日

目次

日本藻類学会創立60周年記念 日本藻学者年表(解説:北山太樹)

日本藻類学会第37回大会 -山梨・2013- のご案内

飯間雅文・栗崎 稔・行平真也:長崎県島原半島北部における絶滅危惧種淡水紅藻オキチモズク

Nemalionopsis tortuosa Yoneda et Yagi の季節的消長 123

川俣 茂:寄り藻調査による大型褐藻アラメのアロメトリー, 脱落原因および寿命の解析 127

芹澤如比古・芹澤(松山)和世:静岡県御前崎の緑藻相と水温・気温の長期的変動 135

書評・新刊紹介

原 慶明:藻類ハンドブック(渡邊 信 監修) 134

藻類学最前線

中山卓郎:*Paulinella chromatophora* に見る一次共生のスナップショット 142

菊地則雄:紅藻ウシケノリ目の属の再編について 145

日本藻類学会第36回大会開催記

小亀一弘:第36回大会を終えて 149

日本藻類学会60周年記念特集

堀口健雄:日本藻類学会創立60周年に寄せて 152

神谷充伸・北山太樹・中山 剛:日本藻類学会創立60周年記念事業

藻類画像DVDおよび日本藻学者年表ポスター 153

日本藻類学会60周年に寄せて:若手会員からのメッセージ

加藤亜記:藻類とこれまでの10年, これからの10年 154

阿部真比古:藻類学会という器 155

吉田昌樹:「藻類オイル」がもたらすもの 156

山岸隆博:藻類学会との10年 157

神川龍馬:藻類学会の思い出 158

土金勇樹:10年前に撒かれたアイディアの種 159

島袋寛盛:海の中って面白い! 160

内藤佳奈子:日本藻類学会員として10年 161

豊岡博子:藻類と出会って6年 162

Gregory N. Nishihara: 12 years of Phycological research 163

村岡大祐:若き藻類研究者のnurseryとして 164

寺田竜太:そしてこれからの10年 165

英文誌(Phycological Research) 60巻1・2号和文要旨 166

学会録事・会員異動他 170

学会・シンポジウム情報 177

入会申込・投稿規定・会則 178

コラム【遊藻子】寺田竜太:与論島のユミガタオゴノリに見る地産地消 172

【遊藻子】寺田竜太:日本最南端の海苔養殖とアサクサノリ 176

日本藻類学会

THE JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY